

# 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 に向けた北区の取組方針

2017 年（平成 29 年）6 月



## 1 はじめに

2020年、世界最大のスポーツと平和の祭典「オリンピック・パラリンピック競技大会」が東京で開催されます。

開催都市の一員である北区は、この東京2020大会を区民のスポーツ・健康の増進に寄与し、次世代に向けた夢とレガシーを創出する絶好の機会と捉えています。

スポーツを通じた心身の向上や世界平和の実現という「オリンピック精神」に基づく取組みはもちろんのこと、東京2020大会に関連するさまざまな事業を推進し、区民がスポーツの役割の重要性や平和の尊さを実感するとともに「おもてなしの心」で迎えられよう気運を高めてまいります。

そこで北区では、平成25年11月にオリンピック・パラリンピックの専管組織として東京オリンピック・パラリンピック担当課を設置し、東京2020大会を見据えた取組みをスタートしました。

また、東京2020大会に関連した事業を総合的に推進するため、庁内を横断する検討体制として「東京オリンピック・パラリンピック推進本部」を平成27年6月に設置しました。

全庁一丸となって大会を成功に導くとともに、大会開催が生み出す活気を地域社会の更なる発展に繋げてまいります。

### 【大会基本情報】



#### 《オリンピック競技大会開催概要》

正式名称：第32回オリンピック競技大会（2020／東京）

開催期間：2020年（平成32年）7月24日（金）～8月9日（日）

競技数：33競技



#### 《パラリンピック競技大会開催概要》

正式名称：東京2020パラリンピック競技大会

開催期間：2020年（平成32年）8月25日（火）～9月6日（日）

競技数：22競技

※本書における大会名称は、次の略称を使用しています。

「東京2020<sup>にいぜろにいぜろ</sup>オリンピック・パラリンピック競技大会」または「東京2020<sup>にいぜろにいぜろ</sup>大会」

## 2 方針の位置づけ

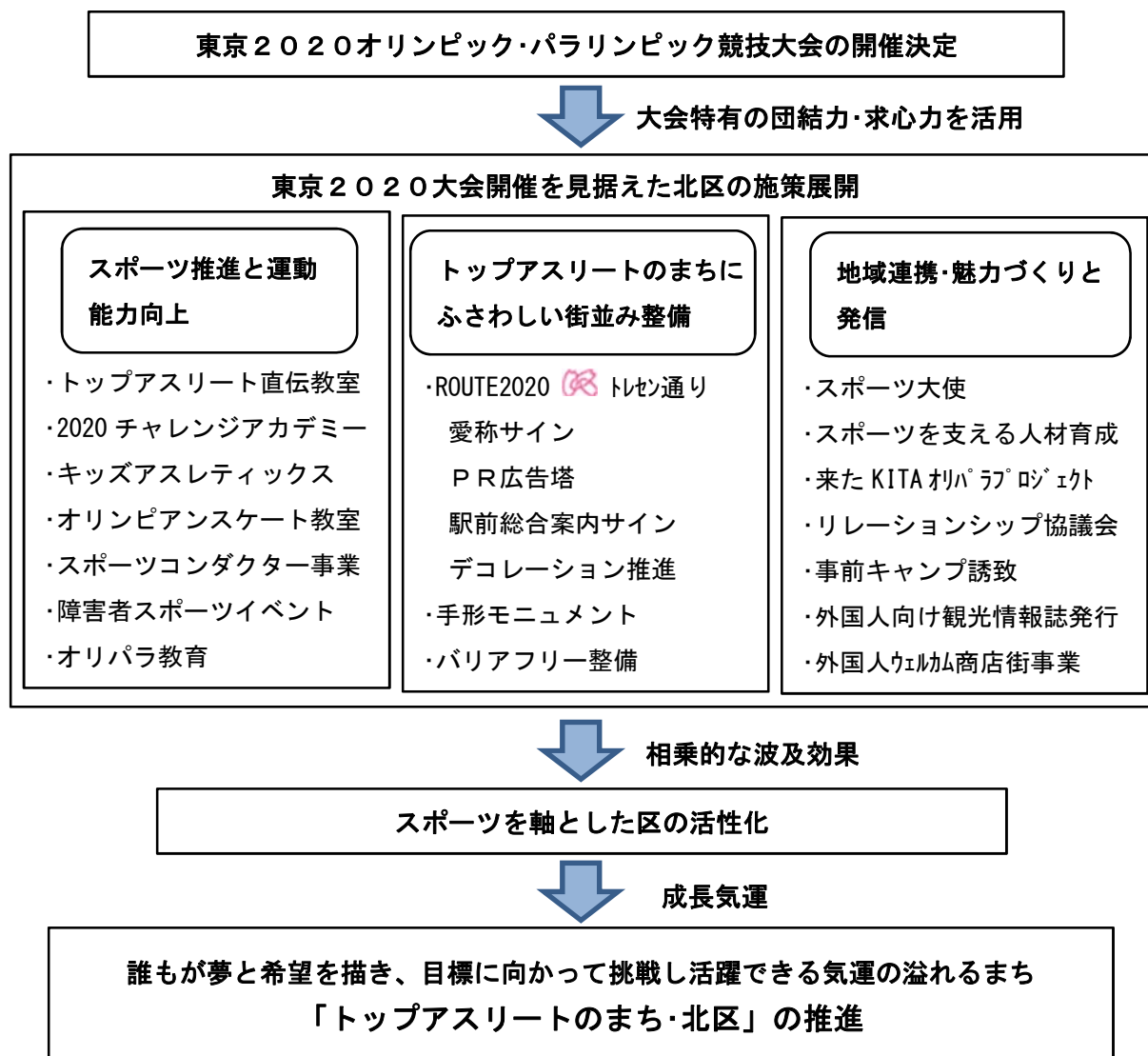
「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた北区の取組方針」は、「北区基本計画」に示す東京2020大会に向けた取組みの基本的な考え方や大会関連事業を踏まえ、大会開催を契機に北区の魅力のさらなる向上を図るための取組みの方向性を示すものです。

また、取組方針は、「北区スポーツ推進計画」等の関連計画との連携・調和を図りながら、区が一丸となって東京2020大会を成功させるためのものとして位置づけます。

### 3 基本的な考え方

- 東京2020大会開催を、単なる一過性のスポーツイベントに留まらせるのではなく、オリンピック・パラリンピックが放つ特有の団結力・求心力を活用した施策展開を図り、スポーツを軸とした区の活性化につなげる。
- 区内にある日本トップレベル競技者のための国内最高水準のトレーニング拠点である味の素ナショナルトレーニングセンターや国立スポーツ科学センター、23区唯一の障害者スポーツの拠点である東京都障害者総合スポーツセンターと連携した北区ならではの事業展開を図り、「トップアスリートのまち・北区」を推進していく。
- 東京2020大会を見据えた北区の特色ある取組みについて、シティプロモーションに重点を置いた事業展開を進め、北区の魅力や新たな価値として発信していく。

### 4 施策体系



**【計画事業】 ※北区中期計画 平成 29 年度～31 年度（平成 29 年 3 月発行）抜粋**

東京オリンピック・パラリンピックを見据えた北区の取組み

○地域産業の活性化

**【025】 北区観光力向上プロジェクト**

区民、事業者と一体となって北区の観光資源や魅力を発信するため、平成 29 年 1 月に設立された東京北区観光協会と連携して、ガイドマップの作成や SNS での情報発信等を行う。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、外国人に北区の魅力を発信し、来訪を促進するため、観光情報誌の発行等を行う。

全体計画 (36 年度) 目標 A	28 年度末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計 (29～31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29 年度	30 年度	31 年度		
推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
(内訳) 観光協会 設立・連携	設立	連携	連携	連携	連携	連携	—
鉄道の まち事業	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
観光大使 の任命	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
外国人向け 観光情報誌 の発行	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
		事業費 (百万円)	27	27	27	81	

**【030】 外国人ウェルカム商店街事業**

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、商店街が外国人観光客に対応するため、無料公衆無線 LAN の整備、コミュニケーション補助ツール及びホームページ作成を支援する。

全体計画 (36 年度) 目標 A	28 年度末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計 (29～31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29 年度	30 年度	31 年度		
推進	開始	推進	拡充	推進	推進	推進	—
		事業費 (百万円)	4	10	10	24	

## ○生涯学習の推進

### 【035】来た KITA オリパラプロジェクト

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、世界各国の歴史、文化、食、言語等を学ぶことで「おもてなし」の心を持ったボランティアの育成事業を実施する。

全体計画 (36年度) 目標 A	28年度末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計 (29~31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29年度	30年度	31年度		
終了	推進	推進	拡充	拡充	拡充	推進	—
		事業費 (百万円)	5	5	5	15	

## ○生涯スポーツの推進

### 【037】東京オリンピック・パラリンピックに向けたバリアフリー整備

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、障害者や高齢者がスポーツに参加しやすい環境を整備するため、区内スポーツ施設及び施設へのアクセスルートのバリアフリー整備を推進する。

全体計画 (36年度) 目標 A	28年度末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計 (29~31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29年度	30年度	31年度		
完成	推進	完成	推進	推進	完成	完成	100%
(内訳) バリアフ リー整備 8カ所	4カ所	4カ所	2カ所	2カ所		4カ所	100%
ことなび 導入 12カ所	6カ所	6カ所	2カ所	2カ所	2カ所	6カ所	100%
		事業費 (百万円)	30	15	1	46	

#### ※バリアフリー整備 予定施設

- 平成 29 年度 ・北運動場施設内、北本通りから施設までの点字ブロック敷設  
 ・赤羽スポーツの森公園競技場施設内
- 平成 30 年度 ・浮間子どもスポーツ広場施設内、浮間舟渡駅から施設までの点字ブロック敷設  
 ・浮間舟渡庭球場施設内

### 【038】「トップアスリートのまち・北区」PRプロジェクト

ROUTE2020(※)トレセン通りのデコレーション、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における事前キャンプ誘致、区内の連携を強化して取り組むためリレーションシップ協議会の設置、北区ゆかりのアスリートをPRの旗手として任命するなど「トップアスリートのまち・北区」を区内外に広く発信していくため、シティプロモーションに重点を置いた事業を展開する。

全体計画 (36年度) 目標 A	28年度末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計 (29~31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29年度	30年度	31年度		
推進	推進	推進	推進	拡充	拡充	推進	—
(内訳) ROUTE2020 デコレーション の整備	検討	推進	推進	推進	推進	推進	—
事前キャン プ誘致	推進	推進	推進	拡充	拡充	推進	—
リレーシ ョンシッ プ協議会	設置	推進	推進	推進	推進	推進	—
トップア スリート 直伝教室	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
スポーツ 大使	任命	推進	推進	推進	推進	推進	—
		事業費 (百万円)	5	17	17	39	

### 【040】障害者スポーツ交流イベント

東京都障害者総合スポーツセンター及びスポーツ団体などと連携して、障害の有無にかかわらず子どもから高齢者まで、だれでも楽しめるスポーツイベントを開催する。また、イベントを通じて区民の障害者スポーツへの理解・関心を深めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に繋げていく。

全体計画 (36年度) 目標 A	28年度末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計 (29~31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29年度	30年度	31年度		
推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
		事業費 (百万円)	5	5	5	15	

**【041】 2020チャレンジアカデミー**

高い指導力を持ったコーチ陣の指導により、北区から東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のフェンシング日本代表選手輩出をめざす。

全体計画 (36年度) 目標 A	28年度末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計 (29~31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29年度	30年度	31年度		
推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
		事業費 (百万円)	4	4	4	11	

**【042】 スポーツを支える人材育成事業**

障害者スポーツ指導の基礎的知識・技術を習得した人材を育成するため、北区主催の養成講習会を開催し、地域での障害者スポーツの普及と発展をめざす。

また、スポーツボランティア制度を創設し、スポーツ現場のボランティア確保・育成に取り組み、スポーツを通じた市民活動・社会貢献活動の活性化を図る。

全体計画 (36年度) 目標 A	28年度末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計 (29~31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29年度	30年度	31年度		
推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
(内訳) 初級障害 者スポー ツ指導員 90人	10人	80人	10人	10人	10人	30人	44.4%
スポーツ ボランテ ィア 100人	準備	100人	40人	20人	20人	80人	80.0%
		事業費 (百万円)	1	1	1	4	

○未来を担う人づくり

【044】健やかな体の育成プロジェクト

国際陸上競技連盟が開発した世界共通プログラムについて、オリンピック等の直接指導による体験会や、体育教諭を対象とした指導方法講習会を実施し、小学生の運動能力育成とオリンピック・ムーブメントを広めていく。

全体計画 (36年度) 目標 A	28年度末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計 (29~31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29年度	30年度	31年度		
推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
(内訳) キッズア スレティ ックス 体験	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
キッズア スレティ ックス 指導者育 成講習会 22回	6回	16回  事業費 (百万円)	2回  2	2回  2	2回  2	6回  6	54.5%



## 〇うるおいのある魅力的な都市空間の整備

### 【100】 駅前公衆トイレ等リフレッシュ事業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴い、国内外問わず観光客等の増加が見込まれることから、乗降人員の多い駅の駅前公衆トイレについてリフォーム及び早朝の清掃強化を図るとともに、スポーツ施設周辺に位置する公園の公衆トイレについてバリアフリー化を進めるなど、清潔で、だれもが使いやすいトイレをめざす。

全体計画 (36年度) 目標 A	28年度 末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計 (29~31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29年度	30年度	31年度		
駅前トイレ 3カ所完成 公園トイレ 4カ所完成	推進	駅前トイレ 3カ所完成 公園トイレ 4カ所完成	公園トイレ 1カ所完成	駅前トイレ 1カ所完成 公園トイレ 3カ所完成	駅前トイレ 2カ所完成	駅前トイレ 3カ所完成 公園トイレ 4カ所完成	100%
(内訳) 駅前トイレ 3カ所改修	—	3カ所完成	準備	赤羽駅 整備・完成	王子駅 田端駅 整備・完成	3カ所完成	100%
公園トイレ 4カ所改修	準備	4カ所完成 事業費 (百万円)	1カ所 整備・完成 26	3カ所 整備・完成 87	44	4カ所完成 156	100%

※公園トイレは、中央公園で3カ所、稲付西山公園で1カ所改修する予定である。

## 《オリンピズムの根本原則》

オリンピック憲章（2016年（平成28年）8月2日） 国際オリンピック委員会

- 1 オリンピズムは肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である。オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものである。その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値、社会的な責任、さらに普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする。
- 2 オリンピズムの目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てることである。
- 3 オリンピック・ムーブメントは、オリンピズムの価値に鼓舞された個人と団体による、協調の取れた組織的、普遍的、恒久的活動である。その活動を推し進めるのは最高機関のIOCである。活動は5大陸にまたがり、偉大なスポーツの祭典、オリンピック競技大会に世界中の選手を集めるとき、頂点に達する。そのシンボルは5つの結び合う輪である。
- 4 スポーツをすることは人権の1つである。すべての個人はいかなる種類の差別も受けることなく、オリンピック精神に基づき、スポーツをする機会を与えられなければならない。オリンピック精神においては友情、連帯、フェアプレーの精神とともに相互理解が求められる。
- 5 スポーツ団体はオリンピック・ムーブメントにおいて、スポーツが社会の枠組みの中で営まれることを理解し、自律の権利と義務を持つ。自律には競技規則を自由に定め管理すること、自身の組織の構成と統治について決定すること、外部からのいかなる影響も受けずに選挙を実施する権利、および良好な統治の原則を確実に適用する責任が含まれる。
- 6 このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。
- 7 オリンピック・ムーブメントの一員となるには、オリンピック憲章の遵守およびIOCによる承認が必要である。

## 《東京 2020 大会 大会ビジョン》

東京 2020 大会開催基本計画（2015年（平成27年）2月）

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

スポーツには、世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。

2020年の東京大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」

「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」

「そして、未来につなげよう（未来への継承）」

を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、

世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。